

令和2年度（2020年度）

第2年次編入学学生募集要項

愛媛大学教育学部

目 次

1	アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）	1
2	募集人員	1
3	入学の時期及び編入学年次	1
4	出願資格	1
5	出願手続	2
	(1) 出願期間	2
	(2) 出願方法	2
	(3) 出願書類等提出先	2
	(4) 出願に必要な書類等	2
	(5) 検定料の返還	3
6	入学者選抜方法	3
	(1) 試験日時	3
	(2) 試験場	3
	(3) 試験科目等及び時間	3
	(4) 注意事項	4
7	学力試験等の配点	4
8	学力試験等の採点・評価基準	4
9	合否判定基準	4
10	合格者発表	4
11	編入学確約書の提出	5
12	入学手続	5
13	編入学後の単位認定	5
14	初年度の諸経費	5
15	留意事項	5
16	入学試験個人成績の開示	5
17	個人情報への取扱い	6
18	合理的配慮を希望する入学志願者の出願	6
19	編入学試験に関する問い合わせ及び募集要項の請求先	6

<本学部所定の用紙>

- ※ 入学志願票, 写真票, 受験票
- ※ 志望理由書
- ※ 志願者名票
- ※ 受験許可書
- ※ 在学期間証明書
- ※ 検定料払込証明書・払込取扱票
- ※ 返信用封筒
- ※ 出願用封筒

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

教育とは次世代を創造する営みです。教育学部は子どもの心を深く理解し、幅広い教養と実践的指導力、現代的課題解決能力、専門性を兼ね備えた教員の養成を目指しています。そのために、学生は関係分野に関する専門的学識を修得し、子どもと多様にかかわり、そしてそれらを考察しつつ、資質能力の向上を図ります。

教育学部は、学校教育教員養成課程（初等教育コースと中等教育コース）と特別支援教育教員養成課程とからなり、教育学部の理念・目的を達成するために、次のような資質能力を有する学生を求めます。

- (1) 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。
 - ① 高等学校で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。（知識・理解）
 - ② 教員養成カリキュラムを履修するのに必要な、教科にかかわる知識や、スポーツ、音楽、造形などの実技能力を有している。（知識・理解、技能）
- (2) 物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。（思考・判断・表現）
- (3) 子どもの育ちや教育にかかわる諸問題に深い関心を持ち、教師として社会に貢献する意欲を明確に有している。（興味・関心・意欲）
- (4) 積極的に他者とかわり、対話を通して相互理解に努めようとする態度を有している。（態度）

2. 募集人員

課 程（コース・サブコース・専攻）	募 集 人 員
学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース	若干人
学校教育教員養成課程 中等教育コース 英語教育専攻	

（注）次の課程、コース・サブコース・専攻は、実施しません。

学校教育教員養成課程

初等教育コース…幼年教育サブコース

中等教育コース…国語教育専攻、社会科教育専攻、数学教育専攻、理科教育専攻、
技術教育専攻、音楽教育専攻、美術教育専攻、保健体育専攻、
家政教育専攻

特別支援教育教員養成課程

3. 入学の時期及び編入学年次

編入学の時期は令和2年4月1日とし、編入学の年次は、第2年次とします。

4. 出願資格

- ① 大学を卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者
- ② 短期大学を卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者
- ③ 高等専門学校を卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者
- ④ 修業年限4年以上の大学に1年以上（休学期間を除く。）在学（令和2年3月をもって1年間在学する者を含む。）し、31単位以上を修得している者及び令和2年3月までに修得見込みの者
ただし、本学部在学中の者は除く。
- ⑤ 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たす者）を修了し、大学入学資格を有する者及び令和2年3月までに修了見込みで、大学入学資格を有する者
- ⑥ 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者で、上記①②③④⑤の各号の一に相当すると認められるもの

- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が、1,700時間以上のものに限る。）を修了し、大学入学資格を有する者及び令和2年3月までに修了見込みで、大学入学資格を有する者

注) 1. 上記⑤⑥⑦により出願しようとする者は、出願資格の有無等の事前協議を行うので、11月18日（月）までに教育学部入試係まで申し出てください。

2. 上記④の「大学において31単位以上を令和2年3月までに修得見込みの者」が、入学試験に合格した後にこれらの単位を修得できないことが確定した場合は、合格を取り消します。

5. 出願手続

- (1) 出願期間

令和元年12月16日（月）から令和元年12月20日（金）まで
（※ 12月20日（金）必着とします。）

- (2) 出願方法

必ず本学部所定の出願用封筒を使用し、「速達・簡易書留郵便」で送付してください。直接持参しても受理しませんので注意してください。

- (3) 出願書類等提出先

愛媛大学教育学部入試係

〒790-8577 松山市文京町3番 電話 089-927-9377

- (4) 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
入 学 志 願 票	所定の用紙に必要事項を記入したもの
写 真 票 受 験 票	所定の用紙に必要事項を記入したもの
卒業証明書又は卒業見込証明書	出願資格①、②又は③に該当する者
成 績 証 明 書	令和2年3月までに修得見込みの科目については、成績証明書の評価の欄に○印等を付したものの又は単位修得見込証明書を添付すること。
志 望 理 由 書	所定の用紙に本人が記入したもの
写 真	上半身、無帽、正面向きで3か月以内に撮影したものを受験票及び写真票の写真欄に貼ってください。(縦4cm×横3cm, 白黒又はカラー)
受 験 許 可 書	出願資格④に該当する者で在学中の者は、当該所属長の許可書(所定の用紙)を提出してください。
在 学 期 間 証 明 書	出願資格④に該当する者は、当該所属長が作成した在学期間証明書(所定の用紙)を提出してください。
検 定 料 払 込 証 明 書	<p>検定料30,000円を最寄りの郵便局又はゆうちょ銀行の窓口(他の金融機関からの振込はできません。)から払込後(ATMは使用しないでください。),日附印を押した「振替払込受付証明書」(大学提出用)を「検定料払込証明書」に貼って提出してください。</p> <p>なお、払込済の検定料は、(5)の返還請求できる場合を除き、返還しません。</p> <p>(注) 本学に令和2年4月1日時点で1年以上在学している学部学生(出願時に卒業見込者を除く。)が教育学部第2年次編入学試験を受験する場合、検定料は納入不要となります。</p> <p>* 検定料免除の特例措置について</p> <p>自然災害により被災した進学希望者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、次項に該当する場合は、検定料免除の特例措置を行います。</p>

	<p>自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方</p> <p>(1) 学資負担者又は志願者が災害救助法の適用を受けた地域に所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した場合</p> <p>(2) 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で、当該災害により死亡又は行方不明となった場合</p> <p>※免除の対象となる入学試験：災害救助法の適用日以降で当該災害救助法適用日の属する年度内に実施される入学試験詳細はホームページをご覧ください。(https://www.ehime-u.ac.jp/post-94204/)</p>
志願者名票	所定の用紙に必要事項を記入したもの
返信用封筒	所定の用紙に志願者のあて先を明記し、384円分の切手(速達)を貼ったもの

(5) 検定料の返還

次に該当した場合は、納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類を提出したが、受理されなかった場合

[返還請求の方法]

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。

「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記③に該当した場合は、出願書類返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

連絡先	〒790-8577 松山市道後樋又10番13号 愛媛大学財務部財務企画課出納チーム 電話 089-927-9074, 9077 Eメール suitou@stu.ehime-u.ac.jp
-----	--

6. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、各課程、コース・サブコース・専攻ごとに面接・専門試験等の得点で合格候補者を選出した上で、共通問題〈小論文〉の得点により最終的に判定します。

(1) 試験日時

令和2年1月25日(土) 午前9時から

(2) 試験場

愛媛大学教育学部 松山市文京町3番

(3) 試験科目等及び時間

		試験科目及び時間		
課程	コース・サブコース・専攻	共通問題 (小論文)	専門試験	面接
学校教育 教員養成課程	初等教育コース小学校サブコース	9:00 ～	(グループ・ディスカッションのための筆記試験) 11:00～11:30	12:30～ (グループ・ディスカッションと面接)
	中等教育コース英語教育専攻	10:30	(英語ライティング) 11:00～12:00	13:00～ (英語による質疑応答を含む。)

(4) 注意事項

- ① 試験開始20分前までに試験室に入室してください。
- ② 試験場所等の詳細は、令和2年1月24日（金）、教育学部本館前の掲示で確認してください。
- ③ 受験者は、本学が交付した受験票を必ず携帯してください。

7. 学力試験等の配点

課 程	コース・サブコース・専攻	専門試験	面 接	共通問題 〈小論文〉
学校教育教員養成課程	初等教育コース小学校サブコース		100 (専門試験の 評価を含む)	100
	中等教育コース英語教育専攻	50	50	

8. 学力試験等の採点・評価基準

教 科 等	採点・評価基準（一般的基準）
共 通 問 題 〈 小 論 文 〉	題意の理解力，文章力，設問に関する基礎的知識，記述の論理性などについて総合的に評価します。
グループ・ディスカッション (小学校サブコース)	学校教育に関する課題及び社会や生活に関する課題を提示し，その課題についての議論や議論中の態度から，本学部で学ぶことへの興味・関心，教員として社会に貢献する意欲，思考力・判断力・表現力，主体性などを総合的に評価する。特に，他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力や他者の意見を傾聴し，それを踏まえて議論を発展させられるコミュニケーション能力及び主体性を評価する。
面 接 (小学校サブコース)	小学校教員を目指すという目的意識，勉学意欲，基礎的知識などについて他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力や主体性などを総合的に評価する。
面接(英語による質疑応答を含む) (英語教育専攻)	目的意識，勉学意欲，基礎的知識，理解力，創造力などについて総合的に評価します。
専門試験 英語ライティング (英語教育専攻)	まとまった量の論理的に構成された英文を書く力があるかを判断・評価します。
成 績 証 明 書	出身学校における単位の修得状況及び成績について総合的に評価します。
志 望 理 由 書	各課程を志望する理由・意欲について評価します。

(注) プレゼンテーションの手順については，受験票発送時に通知します。

9. 合否判定基準

「6. 入学者選抜方法」による選抜の同点者は，同順位とします。

10. 合格者発表

令和2年2月7日（金）午後4時に，教育学部本館前に受験番号で合格者を発表するとともに，合格通知書を本人に送付します。電話等による合否の照会には一切応じません。

なお，合格者受験番号一覧の送付を希望する者は，出願時に374円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封して下さい。合格者発表日に速達で発送します。

11. 編入学確約書の提出

編入学試験の合格通知を受けた者は、本人及び保証人が連署した『編入学確約書』を令和2年2月21日（金）までに提出しなければなりません。

なお、期日までに提出されない場合は、辞退したものと取り扱います。

12. 入学手続

入学手続については、編入学確約書提出者に対して、令和2年2月に改めて通知します。

入学手続時に、単位認定の参考資料として既修得及び修得見込みの授業科目のシラバス、教育課程表、教員免許に関わる書類を提出してください。

なお、入学手続後、卒業又は必要単位が修得できないことが確定した場合は合格を取り消し、入学金は返還できません。

13. 編入学後の単位認定

編入学者が出身校で修得した単位は、科目の講義内容に応じて、本学教育学部の科目の単位として認定されます。

ただし、出身学校で修得した単位がすべて認定されるとは限りません。

14. 初年度の諸経費

初年度に必要な諸経費は、おおむね次のとおりです。

入学金 282,000円（本学に令和2年4月1日時点で1年以上在学している学部学生が本試験を受験し合格した場合は不要です。）

授業料 535,800円（前期分：267,900円 後期分：267,900円）

その他 58,620円（教育学部後援会費、教育学部同窓会費、校友会費〈本学に在学中の学生で納入済みの場合は不要〉、学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険）

合 計 876,420円

（注）授業料の額は、平成31年度の納付額であり、令和2年度は改定になる場合があります。なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

15. 留意事項

- (1) 入学志願票の記載事項及び提出書類に不備があるものは、受け付けません。
- (2) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても出願書類の記載内容の変更は認めません。また、出願書類は返却しません。

16. 入学試験個人成績の開示

本学部では、第2年次編入学試験の個人成績を受験者本人に限って、次のとおり開示します。希望者は、期間内に申し込んでください。

開示内容：試験成績

請求者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

請求期間：令和2年5月1日（金）から令和2年5月31日（日）まで

郵送による請求のみとし、この期間内の消印があるものに限り受け付けます。

請求方法：書面（記入例参照）により、令和2年度愛媛大学受験票と返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm、自己のあて先を明記し、414円分の切手を貼ったもの）を同封して、教育学部入試係へ請求してください。

開示方法：本学部到着後、2週間程度で受験者本人あてに、郵送された受験票とともに簡易書留郵便で送付します。

(請求書面記入例)

愛媛大学教育学部長 殿	令和2年	月	日
	請求者氏名		印
	受験番号		
	連絡先 電話	-	-
第2年次編入学試験個人成績開示請求書			
令和2年度第2年次編入学試験の個人成績を請求します。			

17. 個人情報の取扱い

本学では、提出された出願書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

18. 合理的配慮を希望する入学志願者の出願

合理的配慮を希望する入学志願者で、受験上配慮を必要とする者は、随時相談に応じますので、教育学部入試係までご相談ください。受験の際に必要な合理的配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に教育学部入試係まで相談してください。

また、相談は志願者本人、保護者等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

(1) 受験上配慮申請書の提出方法及び提出期限

受験上の合理的配慮の提供を必要とする者は、以下の書類を出願書類とあわせて提出してください。なお、出願の期限までに提出できなかった場合は、早急に教育学部入試係へご連絡ください。

- ・受験上配慮申請書（<http://www.ehime-u.ac.jp/entrance/transfer/overview/> よりダウンロード）
- ・障害者手帳等の写し、または医師の診断書（写しでも可）等で、障がい等の状況が確認できるもの ※診断書が発行できない場合はその旨を申し出てください。

(2) 提出された書類により、受験上の配慮内容を決定し、受験配慮申請者に通知します。

(3) 書類提出締切日 原則として令和元年11月22日（金）

19. 編入学試験に関する問い合わせ及び募集要項の請求先

愛媛大学教育学部入試係

〒790-8577 松山市文京町3番 電話 089-927-9377

郵送で募集要項を請求する際は、志願者のあて先を明記し、210円分の切手を貼った返信用封筒角形2号（33cm×24cm）を同封の上、封筒に「第2年次編入学学生募集要項請求」と朱書きして上記のあて先へ申し込んでください。

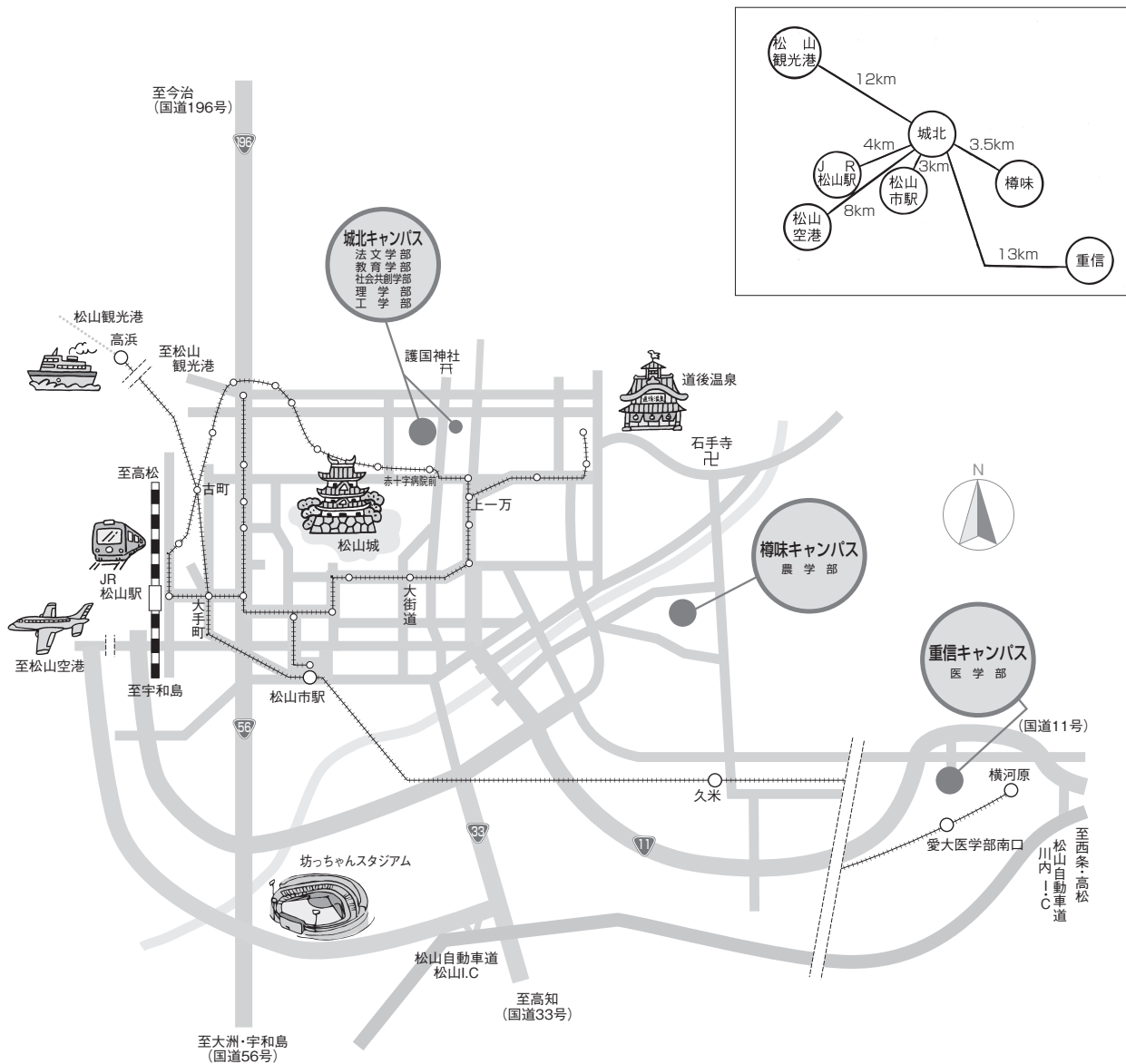
交通機関案内

◇城北キャンパスへのアクセス

- JR松山駅から 伊予鉄道市内電車 ①番環状線 JR松山駅前から古町回り 乗車約18分
赤十字病院前下車 北へ徒歩3分
- 伊予鉄道松山市駅から 伊予鉄道市内電車 ②番環状線 松山市駅から大街道回り
乗車約16分赤十字病院前下車 北へ徒歩3分
①番環状線 松山市駅からJR松山駅回り
乗車約28分赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

(注) 電車、バスの運行時刻については、受験者各自が確認してください。

試験場案内



愛媛大学建物配置図 (城北キャンパス)

